



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

須波夕景

撮影者 三浦俊明さん 撮影日 平成25年6月
撮影場所 須波影山(須波町)



青葉

撮影者 上田 孝さん 撮影日 平成25年5月
撮影場所 米山寺(沼田東町納所)



ヒョウモンモドキ

撮影者 深町 博さん 撮影日 平成25年6月
撮影場所 久井町



初夏の白滝山

撮影者 岡田敏行さん 撮影日 平成25年6月
撮影場所 白滝山(小泉町) 龍泉寺

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 12日(月)(必着)

応募資格 市内に在住か通勤・通学の人

選考 秘書広報課で選考

※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真の返却は行いません。広報誌で紹介できな

った写真は、市ホームページへ掲載します。

申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67・6007 ㊚soumu@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲伸びやかな地声が祭りを盛り上げました

「ヤッサ、ヤッサ、ヤッサモッサ、ソッチャセー」この踊り唄がまちに流れ始めると夏が来たと感じるといふ宮崎碧さん。やっさ教室で7年、踊り唄を習っています。きっかけは、小学5年の学習発表会でやっさ踊りに取り組んだこと。「本当は、太鼓をやりたいかった」と宮崎さん。「声が素直で良い」という先生の勧めで唄を担当し、湯河原やっさへも同級生と参加しました。

やっさ教室から民謡全国大会へ

その後、三原やっさ踊り振興協議会のメンバーから「やっさ祭りでもうたつてほしい」と頼まれ、ステージに。人見知りというのでさぞかし緊張したかと思えば「夜は人の顔もよく見えなくて、普通にうたえました」とあっさり。伸びやかな地声が民謡会の人の目に留まり、その誘いで民謡も習い始めました。民謡教室では、先輩の抑揚の付け方などを参考に練習を重ねています。昨年に引き続き、民謡の全国大会に出場する宮崎さんは「いつか入賞したい」と抱負を語ってくれました。やっさとの出会いがきっかけで広がる世界。「いろいろな経験ができたのは、やっさのおかげ。興味のある人は、まず教室に参加してみてください」と呼び掛けます。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



総合技術高校2年
宮崎 碧さん
みどり